

令和元年度佐久農村女性のつどいを開催しました！

佐久農村女性団体連携会議と佐久農業改良普及センターの主催により、令和2年1月16日に佐久合同庁舎講堂において、佐久地域で農業生産や地域づくりの担い手として活躍している農村女性が一堂に会し「令和元年度佐久農村女性のつどい」を開催しました。「多様な人材と連携し、次代につなげよう農業・農村」をテーマに、農村女性がこれまで培ってきた知識や技などを次の世代にどうやってつなげていくか、コミュニケーションのスキルを通じて学び、交流を深め、魅力ある活動につなげることを目指し実施しました。



農村女性団体連携会議代表あいさつ



JA 佐久浅間女性会ファッションショー

最初に令和元年度長野県農村女性きらめきコンクール最優秀賞を受賞された農村女性ネットワーク御代田の会長の荻原富士子さんより「つながりを大切に！～仲間と共に前向きに取り組んだ活動が農と地域をつなげる～」と題してこれまでの仲間との歩みと地域活性化に向けた取り組みについて発表いただきました。



事例報告：農村女性ネットワーク御代田



事例報告：佐久市生活改善グループ

農業委員会からの発表では、「あなたも農業委員になりませんか？」と題して、農業委員の活動紹介を長野県農業委員会女性協議会佐久支部の副会長の井出由美子さんと各地区の委員さんに発表いただきました。

続いて、佐久市生活改善グループの会長の野村順子さんより「ミニトマトで『楽しもう親子食と農の体験教室』」と題してミニトマトをテーマとして佐久市青年農業者クラブと連携して行った収穫・販売・料理体験の食農教育について発表をいただきました。



事例報告：農業委員会

長野八ヶ岳農業協同組合女性部からは、「JA長野八ヶ岳 女性部活動紹介」と題し、日頃の活動を猿谷まき子さんに発表していただきました。

最後に、若い女性農業者の活動ということで、NAGANO農業女子の佐久地域コアメンバーである新海智子さんに「NAGANO農業女子の活動紹介」を発表いただきました。



事例報告：JA長野八ヶ岳女性部

事例報告により、互いの情報交換になった様子でした。また、NAGANO農業女子を初めて知った方も多く、若い方たちが緩やかなつながりを持って活動していることにうれしいとの声が聞かれました。



事例報告：NAGANO 農業女子

午後は、「真っ赤な太陽」の音楽に合わせてストレッチ体操で身体をほぐした後、つどいのテーマの本題である世代間のコミュニケーションについてコーチングアカデミー諏訪校の校長でフリーアナウンサーの土橋桂子氏に「心が近づくコミュニケーション！～世代をこえて味方になるために～」と題してご講演をいただきました。講演会では、参加者の皆さんがすぐに実践できるようにと内容を「聞き上手」といったことに絞っていただき、ワークも取り入れて実感できるコミュニケーションスキルの実習も含めてもらったことから、わかりやすかったとの声が多く聞かれました。



盛り上がったストレッチ体操



参加者目線で全員参加型の土橋氏の講演



最後に、このつどいの内容をこれからの自分たちの活動や地域活動へどう活かしていくかといった内容で参加者からご意見をいただき、一日のまとめとしました。

これまで活躍してきた農村女性の皆さんの活動をどうやって次の世代へつなげていくかは、大きな課題となっていますが、まずは、お互いの信頼関係が出来ていないことには進まないと思いま

す。今回の佐久農村女性のつどいがきっかけとなり、発表者、参加者等がつながり、地域をさらに盛り立てていければと期待します。



参加者それぞれより一日のまとめ発表